



侵华日军第七三一部队罪行实录

金成民 主编

日本细菌战史料集：
战时给水类
(四)

金成民 主编



国家出版基金项目
NATIONAL PUBLICATION FOUNDATION

侵华日军第七三一部队罪行实录

金成民 主编

日本细菌战史料集： 战时给水类 (四)

金成民 主编

 中国和平出版社

目 录

- 1 防疫给水训练草案
汽车编成防疫给水部相关部分 / 宫崎淳臣
- 75 加藤 (Kato) 消毒机杀菌能力实验成绩报告 (摘录)
昭和十六年 (1941) 医务第 1315 号训令相关部分 / 津山义文
- 82 关于本国硅藻土矿床的调查
第 1 篇 桦太及北海道篇 / 饭田贞雄
- 95 卫生滤水机适宜滤压的相关研究 (第 2 报告) / 佐佐木建夫
- 115 过滤管吸着的相关研究
关于不合格卫生滤水机过滤管的利用方法 / 佐佐木建夫
- 126 硬质除菌过滤器实验方案及注解
第 3 篇 细菌学性状部分 / 佐佐木建夫
- 130 除菌过滤器吸着性能相关研究
第 1 篇 色素吸着及实验式诱导 / 佐佐木建夫
- 146 除菌过滤器吸着性能相关研究
第 2 篇 过滤器色素吸着总量的计算及测定方法 / 内藤良一 佐佐木建夫
- 158 硬质除菌过滤器试验方案及注解
第 2 篇 吸着性能部分 / 内藤良一 佐佐木建夫
- 165 水源与水质的研究
第 1 报告 研究方针概要 / 村上秀二

- 169 关于除菌过滤器主材料硅藻土的实验性研究
第3篇 本国各地产硅藻土的物理学
性状(比重及粒子微细度)/饭田贞雄
- 196 关于减轻卫生滤水机乙及丙重量的研究(齿轮部及盖部改良)/津山义文
- 207 关于野战消毒汽车改良的相关研究
其一 野战浴槽使用方法/津山义文 井泽馨
- 214 关于野战给水
针对普通医生及医学学生的普及讲演/内藤良一
- 227 关于除菌滤水器主材料硅藻土的实验性研究
第5篇 本国各地产硅藻土的细菌吸着性能/饭田贞雄
- 266 关于现有过滤管及刷子使用寿命及配备补给计划的相关研究/津山义文
- 273 关于野战消毒汽车改良的相关研究
第3报告 野战检疫消毒所寒冷地带使用营帐
设计规划/津山义文 井泽馨
- 291 装甲兵团防疫给水相关研究
第1报告 履带型卫生滤水机的试制/津山义文 早濑义种
- 303 关于防疫给水部修理班医务箱的改良
附录:收纳品的用途与用法/早濑义种 饭田贞雄
- 329 前线给水相关研究
第2篇 臂力搬运型卫生滤水机丙的前线给水部队训练方案/佐佐木建夫
- 339 关于本国硅藻土矿床的调查
第2篇 东北及关东篇/饭田贞雄

- 351 除菌过滤器吸着性能相关研究
第3篇 色素吸着因子及吸着状态 / 佐佐木建夫
- 364 关于野战消毒汽车改良的相关研究
第4报告 野战检疫消毒用发电机说明书 / 津山义文
- 367 吸着细菌用硅藻土的实验及规格方案 / 饭田贞雄
- 371 关于细菌与硅藻土硅藻壳的鉴别染色法设计案 / 饭田贞雄
- 376 关于除菌滤水器主材料硅藻土的实验性研究
第6篇 本国各地产硅藻土的色素吸着性能 / 饭田贞雄
- 398 野战检水车第1次试制报告 / 胜谷俊一等
- 413 关于除菌滤水器主材料硅藻土的实验性研究
第4篇 本国各地产硅藻土的加热变化 / 饭田贞雄
- 433 关于本国硅藻土矿床的调查研究
第5篇 朝鲜篇 / 饭田贞雄
- 439 关于除菌滤水器主材料硅藻土的实验性研究
第7篇 针对本国各地产硅藻土各种性状的综合评价 / 饭田贞雄

陸軍軍醫學校防疫研究報告
第2部 第578號

防疫給水教練草案(草案)
(自動車編成防疫給水部ニ關スル分)

陸軍軍醫學校軍陣防疫學教室(主任 井上大佐)
陸軍軍醫大尉 宮崎 淳 臣



第	2	部
原	著	
分類	108—	
受附 昭和 18. 6. 14		

578-2

附 言

本草案ハ防疫給水教練草案草案中自動車編成防疫給水部ニ關スル分ナリ、師團防疫給水部部員(淨水製造補給班長)トシテ勤務中教育資料ニ供セシ草稿ヲ整理セルモノニシテ未ダ推薦ノ餘地ナシトセザルモ取敢ズ報告シ大方ノ修正ヲ乞フハントスルモノナリ。

- 1) 本草案ニ於テハ自動車ニ依ル淨水製造補給教練ノミ記載セリ。
- 2) 本草案ニ於テ中隊ト稱スルハ淨水製造補給班ノ謂ニシテ小隊ト稱スルハ防疫給水部内ノ各班(淨水製造班ニ淨水補給班等)ヲ指ス。
- 3) 本草案ニ於テハ各班ニ自動車ヲ配當スルコトナク自動車中隊(淨水製造補給班)ヲ編成シ中隊ニ於テ防疫給水部ノ勤務ノ基礎タル自動車諸教練ヲ完成スル如ク記載セリ。
- 4) 本草案ハ中隊教練以下ノ記載ニシテ防疫給水部綜合教練ノ項ハ未完ナリ。
- 5) 本草案中ノ車輛數ハ師團防疫給水部ヲ示ス。
- 6) 引用セル文献左ノ如シ。

- (1) 防疫給水講義錄
- (2) 歩兵操典
- (3) 輜重兵操典
- (4) 自動車教練規定
- (5) 擔架兵教程
- (6) 防疫給水部各班勤務指導要領、開車專陸奥給水部
- (7) 師團防疫給水部勤務令草案(第2案)
陸軍軍醫學校防疫給水部、昭和14. 12.
- (8) 夏目亦三郎、淨水製造作業教案
關東軍防疫給水部、昭和15. 9.
- (9) 對機甲戰鬥資料及用法
關東軍司令部、昭和16. 8.
- (10) 對機甲要領
關參教資料第46號、關東軍司令部、昭和16. 8.
- (11) 自動車部隊指揮運用ノ參考(其ノ2)
關參教資料其ノ10、關東軍司令部、昭和16. 9.
- (12) 關東軍情報

578-3

淨水製造補給教練草案(草案)目次

通 則

第1章 自動車=依ル淨水製造教練

第1節 各 個 教 練

要 則

第1款 兵ノ定位

第2款 乗車、下車、始動、運轉停止

第3款 運動、各種地形ノ通過

第4款 淨 水 製 造

第5款 夜 間ノ動作

第6款 戰 闘

第7款 兵一般ノ心得

第2節 分 隊 教 練

第1款 密 集

其ノ1 編 成 及 隊 形

其ノ2 密 集ノ動作

第2款 梱包積載、卸下

第3款 各種地形ノ通過

第4款 車 庫

第5款 淨 水 製 造

第6款 消 火

第7款 手入修理並ニ管理

第8款 戰 闘

第3節 小 隊 教 練

要 則

第1款 密 集

其ノ1 編 成 及 隊 形

其ノ2 密 集ノ動作

第2款 積 載 卸 下

第3款 各種地形ノ通過

第4款 車 庫

第5款 淨 水 製 造

第6款 消 火

第7款 手入修理並ニ管理

578—4

第8款 戰 闘

第2章 自動車=依ル淨水補給教練

第1節 各 個 教 練

要 則

第1款 兵ノ定位

第2款 乗車、下車、始動、運轉停止

第3款 運 動

第4款 各種地形ノ通過

第5款 夜間ノ動作

第6款 戰 闘

第7款 兵一般ノ心得

第2節 分 隊 教 練

第1款 密 集

其ノ1 編成及隊形

其ノ2 密集ノ動作

第2款 梱包積載、卸下

第3款 各種地形ノ通過

第4款 車 庫

第5款 淨 水 補 給

第6款 軍隊輸送

第7款 戰 闘

第3節 小 隊 教 練

要 則

第1款 密 集

其ノ1 編成及隊形

其ノ2 密集ノ動作

第2款 積 載 卸 下

第3款 各種地形ノ通過

第4款 車 庫

第5款 淨 水 補 給

第6款 軍隊輸送

第7款 戰 闘

第4節 中 隊 教 練

要 則

372-5

第1款 中隊ノ密集

其ノ1 編成及隊形

其ノ2 密集ノ動作

第2款 各種地形ノ通過

第3款 行 軍

第4款 淨水製造補給

第5款 軍隊輸送

第6款 患者輸送

第7款 警戒並ニ戦闘

其ノ1 對機甲戦闘

要 旨

對戰車肉薄攻撃

其ノ2 對バルチ戦闘

要 旨

行 軍

宿 營

第8款 夜間ノ行動

第3章 火線給水教練

要 則

第1節 分隊教練

第1款 編成及隊形

第2款 火線給水

第3款 警戒並ニ戦闘

第4款 夜間ノ動作

第2節 小隊教練

第1款 編成及隊形

第2款 火線給水

第3款 警戒並ニ戦闘

第4款 夜間ノ動作

第4章 臂力搬送教練

要 則

第1節 各個教練

第1款 兵ノ定位

第2款 通過

578—6

第3款 運 動

第4款 各種地形ノ通過

第5款 淨 水 製 造

第6款 夜間ノ動作

第2節 分 隊 教 練

第1款 編 成 及 隊 形

第2款 濾 水 器 着 脱

第3款 運 動

第4款 淨 水 製 造

第3節 小 隊 教 練

第1款 編 成 及 隊 形

第2款 運 動

第3款 淨 水 製 造

第4款 警戒並ニ戦闘

第5款 夜間ノ行動

自動車ニ依ル淨水製造補給教練草案(草案)

通 則

第1 防疫給水部ノ勤務ノ基礎タル自動車諸教練ハ中隊(淨水製造同補給班)ニ於テ完了スルモノトス、之ガ爲自動車ヲ各班ニ配當スルコトナク、自動車中隊ヲ編成シ演練ヲ重スルヲ要ス、中隊ハ指揮班、淨水製造小隊(衛生濾水機甲同附屬車)及淨水補給小隊(普通自動車)ニ分ツ。

第2 基礎教練ヲ分チテ自動車教練(衛生濾水機甲ニ依ル淨水製造教練、自動車ニ依ル淨水補給教練)及徒歩教練トシテ主トシテ操縦手、助手ヲ以テ自動車教練及淨水製造教練ヲ其ノ他ヲ以テ徒歩教練ヲ實施スルモノトス。

第3 自動車基礎教練ニ在リテハ先ヅ補給小隊(衛生濾水機甲附屬車ヲ含ム)ヲ演練シ淨水小隊ニハ特ニ操縦技能優秀ナルモノヲ配當シ主トシテ衛生濾水機甲ニ依ル淨水製造教練ヲ實施スルモノトス、各小隊基礎教練完了セバ徒歩分隊ヲ荷匡兵トナシ操縦助手ト共ニ淨水補給教練ヲ演練シ最後ニ衛生濾水機甲ニ附屬車ヲ附シ、中隊トシテ淨水製造補給教練ヲ完成スルモノトス。

第4 自動車(以下衛生濾水機甲ヲ含ム)ニ依ル淨水製造補給教練ノ目的ハ自動車ノ操縦操作及調整、積載、卸下其ノ他特定ノ動作ニ習熟シ指揮官以下ヲ訓練シテ階級ノ狀況ニ應ジ淨水製造、補給、消火並ニ人員、患者等ノ輸送ヲ充ウシ得シムルニ在リ。

第5 自動車ノ整備ノ良否ハ任務達成ニ影響スルコト頗ル大ナリ、故ニ各級幹部ハ自動車ノ構造機能及調整修理並ニ取扱ニ精通シ綿密ニ之ガ基礎教育ヲ行ヒ兵ヲシテ調整修理及取扱ニ習熟セシムルト共ニ屢ニ狀況ヲ設ケ其ノ演練ヲ重スルヲ要ス、就中夜間ノ動作ニ於テ特ニ然リ。

578-17

- 第6 教練ニ方リテハ常ニ旺盛ナル攻撃精神ヲ充溢セシメテ必勝ノ信念ヲ養成シ、車輛軍紀ニ慣熟セシメザルベカラズ。殊ニ基本操縦訓練ト雖モ常ニ精神力ノ緊張ヲ圖リテ實戰狀態ニ在ラシメ危殆ヲ未然ニ防止スルト共ニ演習ノ構成及審判官ノ配置等ニ留意スルヲ要ス。
- 第7 微煙火又ハ無煙火ヲ以テスル夜間ノ隱密行動ヘ近代戰ノ特性ニ鑑ミ屢ニ之ヲ實施スル指揮官以下ヲシテ習熟セシムルコト緊要ナリ。
- 第8 極寒、酷熱、雨雪、蒙霧、濃霧、濕地、坂道、密林、山嶽、河川、橋梁、不整地、沙漠等ヘ防疫給水部ノ作戰行動ヲ阻碍スルコト大ナリ、故ニ操縦整備教育ト相平行シテ屢ニ急遽機轉ヲ提ヘ反復實地教育ニ勉メ自動車部隊ノ特性ヲ遺憾ナク發揮セシムルヲ要ス。
- 第9 操縦手、助手ノ背負若クハ背負袋ハ教練其ノ他ニ際シテハ通常之ヲ積載セシメテ下駄以下荷重兵ノ背負ハ適宜自動車ニ積載スルモノトス。
- 第10 自動車ノ距離 夜間間隔ヲ圖フ ハ通常停止間ニ在リテハ5歩行進間30歩トス、速度ノ増減ニ伴ヒ10杆ナルトキハ10杆20米ナルトキハ20米ノ如クニ伸縮ス。
軸心間隔ヲ圖フ ハ5歩トスルモ時宜ニ依リ伸縮ス。
- 第11 燃料及油脂ハ自動車部隊ノ生命ナリ、故ニ各級幹部ハ教練ニ方リテハ最少ノ消費量ヲ以テ最大ノ効果ヲ收メル如ク指導シ演習ニ在リテハ事前ニ綿密ナル計畫ヲ樹立シテ極力之ヲ節約ニ勉ムルト共ニ其ノ補充ニ留意スルコト緊要ナリ。
- 第12 燃料ノ節約ニ方リテハ各級幹部ハ不注意ニ基クカ始動即ノ不整備ニ依リ停止間ノ空轉轉、整備不良ノ爲メノ燃料ノ消費等ヲ看過シテ絶エズ戒飭ニ勉ムルヲ要ス。
- 第13 記號ハ晝間ニ在リテハ片手(拔刀シアルトキハ刀ヲ以テ之ニ代フ)又ハ手旗ヲ夜間ニ在リテハ尾燈、懐中電燈、白布、作業手袋ヲ受信者ニ向ケ左ノ如ク行フ、狀況ニ依リザラシク號令、哨笛又ハ警笛ヲ以テ記號ニ代フルコトヲ得。

578-8

區	分	手色 旗別	手	腕	燈火(赤)「レ」 ンズ」=赤イ ンク」ヲ附ク	警 笛
1	氣ヲ著ケ、往來、出陣準備完了	青	垂直=高ク舉グ			
2	運動始メ	青	高ク垂直=舉グ時計方向=數回廻ス			
3	前へ進メ、歩度伸セ、異常ナシ	青	高ク舉グ行進方向=數回倒ス			
4	運動止メ、歩度縮メ	青	高ク舉グ臂ヲ數回屈伸ス			
5	止レ	青	高ク垂直=舉グ地面=向ヒ下ス			
6	急停止	赤	同上			
7	後へ進メ	青	右=出シ∞型ヲ畫ク			
8	異常ノ有無	青赤	交互=上下=振ル			2 笛
9	異常アリ	赤	高ク垂直=舉グ			3 笛
10	異常アルモ續行	赤	前進記號ヲナス			1 笛
隊 形 變 換	11 右(左)へ 進メ	青	高ク舉グ新方向=數回倒ス			
	12 中輪に右(左)へ 進メ	青	高ク頭上=テ大圓ヲ數回畫キタル後 迴轉方向=水平=倒ス			
	13 右(左)へ寄レ	青	水平=出シ數回臂ヲ屈伸ス			
	14 右(左)横隊 進メ	青	横隊方向=水平=出シ數回上下シテ 後停止ノ記號ヲナス			
	15 伍々右(左)へ 進メ	青	前進記號ヲナレ行進方向=水平=出 シ數回上下ス			
自 衛 隊 間	16 敵發見	青	頭上=テ左右=振ル			警笛 5 分
	17 戦闘準備進メ(自衛隊)進メ	赤	∞型ヲ畫ク			
	18 全員集合	青赤	兩手=持テ∞型ヲ畫ク			
19	操縦手交替	青赤	頭上=  型ヲ高ク垂直=舉グ			
對 空	20 敵機發見	赤	頭上=大圓ヲ數回畫キタル後飛行機 ノ前進方向=倒ス			
	21 對空射撃開始	赤	戦闘準備(自衛隊)進メ=同ジ			
	22 開始	青赤	頭上=高ク垂直=舉グ水平=開ク			
	23 右(左)梯隊	青赤	兩手=持テ斜右左上舉グ			
	24 分隊ノ距離開ケ	青赤	片手=  ノ如ク垂直=高ク舉グ			
	25 分隊ノ各車距離開ケ	青赤	片手=  ノ如ク横=持テ頭上=高 ク舉グ			
對 瓦 斯	26 瓦斯掩蔽	赤	高ク垂直=舉グ臂ヲ數回屈伸ス			
27	瓦 斯	赤	水平=出シ左右=振ル			
28	瓦斯ナシ	青	頭上=テ左右=振ル			

後方ヨリ記號ヲナス場合=ハ要スレバ警報器ヲ2回鳴ラシ注意スルモノトス、助手へ迅速確
實=記號ヲ通傳スルト共=操縦手荷重兵=徹底セシムルヲ要ス、最後尾ノ助手へ停止=際シテ
ハ常=後尾到着ノ通傳ヲナシ夜間=於テハ青燈火ヲ以テ之=代アルモノトス。

第1章 自動車=依ル潜水製造教練

第1節 各個教練

要 則

第14 各個教練ノ目的ハ兵ヲシテ衛生濾水機甲(以下單=甲ト略稱ス)ノ取扱=積載、卸下其ノ

578-9

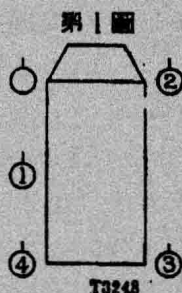
他ノ動作、警熱セシメ部隊教練ノ確固クル基礎ヲ作ルニ在リ。

第15 甲ニハ通常兵5名ヲ屬シ1名ヲ操縦手他ヲ助手トス。

第1款 兵ノ定位

第16 兵ノ定位左ノ如シ。

甲ニ乗車セル場合ニ於テハ操縦手ハ操向轉把ニ正對シ助手1番ハ操縦手ト並ビ共ニ運轉座ニ坐シ正シキ姿勢ヲ取ル、助手2番以下ハ附屬車ノ荷區上ニ位置シ不動ノ姿勢ヲ取ル、下車セル場合ニ於テハ操縦手(助手2番)ハ甲ノ左(右)前左(右)側1歩ニ助手1番ハ操縦手ニ重ナリ其ノ隣ヨリ自己ノ踵迄約1米30釐ノ距離ヲ取り其ノ他ハ自動車ノ左(右)後端ニ前方ノ者ニ重ナリテ位置シ不動ノ姿勢ヲ取ル。



1. 番號ハ助手ヲ示ス

2. 『氣ヲ著ケ』及『休メ』ノ動作ハ補給教練ニ準ズ

第2款 乗車、下車、始動、運轉停止

第17 乗車、下車、始動、運轉停止ニ關シテハ淨水補給教練ニ準ズ。

第3款 運動：各種地形ノ通過

第18 運動、各種地形ノ通過ニ關シテハ淨水補給教練ニ準ズ。

第4款 淨水製造

第19 淨水準備ヲナサシムルニハ甲及附屬車ノ進入位置ヲ示シタル後左ノ號令ヲ下ス。

淨水準備

操縦手ハ甲ヲ淨水開始ノ位置ニ略々水平ニ置キタル後手動制動機ヲ引キ變速桿ヲ中立ニシ、助手ハ下車シテ定位ニ著ク。

操縦手、助手1、2番ハ第1組兩餘ノ助手ハ第2組トナリテ作業ヲ行フ

第1組ノ爲スベキ動作概ネ左ノ如シ。

操縦手、助手2番ハ甲ノ兩側ニ分レ前方ヨリ後方ニ進ミツツ車體天幕及車室側扉ヲ開キ、1番ハ後方ニ在リテ車體天幕及後扉ヲ開ク。

1番ハ車上ニ登リ車體天幕ヲ操縦座上ニ疊上ゲタル後各「ホース」、塵除及篩籠等ヲ2番ニ渡し2番ハ淨水ホースヲ後方ニ他ヲ前方ニ繋頓ス。

操縦手ハ所要ノ水口キャップヲ脱ス

1、2番ハ協力シテ淨水ホース及排水ホース並ニ塵除、篩籠ヲ附シタル吸水ホースヲ各水口ニ装着ス。

578—10

操縦手ハ他側ノ水ロキヤツツ」及「各ホース」ノ接続部ヲ充分ニ緊定シタル後機室空冷却水釜ヲ開キ「ポンプ」壓力計、真空計及冷却水管ノ各排水弁並ニ「ポンプ」排水弁及「ポンプ」保運用無氣管弁ヲ確實ニ閉鎖ス、次デ注油器ヲ4～5回前後ニ動カシテ真空ポンプ」ニ注油シ、注脂器ヲ2～3回右ニ廻シテ主ポンプ」ニ注脂スルト共ニ真空管開閉弁ヲ開ク。

1番ハ原水主管弁ヲ閉デ汚水及通氣主管弁ヲ開ク。

1番(2番)ハ甲ノ左(右)ニ在リテ各濾過器界ヲ開キ濾過管締附ノ良否其ノ他及各種濾過器通氣支管弁及汚水支管弁ガ完全ニ開キ居ルヤ否ヤ點檢ス、要スレバ操縦手ハ「ポンプ」ヲ始動シ給水シテ各原水支管弁ノ開キタルヲ確メタル後自動洗滌ヲ行ヒ(但シ洗ヒ流シヲ除ク)濾過管及刷子ノ廻轉ガ圓滑ナルヤ否ヤヲ點檢スルモノトス。

第2組ノ爲スベキ動作概ネ左ノ如シ。

3、4番ハ甲ノ車輪下ニ木楔ヲ挿入シ車止トナシ水槽、鐵梯子ヲ組立テテ之ニ「淨水ホース」ヲ載セタル後2名ハ協力シテ排水溝ヲ構築ス。

兵ハ右ノ動作終レバ定位ニ復シ操縦手ハ「濾水準備終リ」ト報告ス。

第20 濾水ヲ爲サシムルニハ左ノ號令ヲ下ス。

濾 水 始 め

操縦手ハ機關ヲ始動シ左足ニテ聯動鐵板ヲ壓下シテ傳動ヲ斷チ「ポンプ」槓桿ヲ引キ餘ロニ聯動鐵板ノ壓下ヲ緩メテ真空計及壓力計ヲ注視シツツ動力カ「ポンプ」ニ傳達ス。揚水スレバ一旦仰面廻轉ヲ緩メテ後再ビ壓力計ヲ注視シツツ給水スルト共ニ(真空管開閉弁ヲ閉デ)機關冷却水弁ヲ開ク。1番ハ揚水シタル後餘ロニ原水主管弁ヲ開キ濾過器内ニ給水シ汚水ホース」ヨリ排水ヲ見タル後汚水主管弁ヲ閉ヅ、尙汚水ホース」内ニ通氣管ヨリ流出スル原水ノ排出ヲ見タルトキハ通氣主管弁ヲ閉ヅ、1番ハ絶エズ分隊長ノ動作ニ注意スルト共ニ汚水ホース」及濾水狀況ヲ操縦手ニ報告シ且2番ト協力シ濾過器ノ點檢ヲ行フ。

3、4番ハ水槽ノ附近ニ在リテ濾水狀況並ニ濁水ノ有無ヲ1番ニ報告シ淨水ノ處理ヲ行フ。

第21 濾水ヲ停止セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス。

濾 水 止 め

操縦手ハ自動洗滌ヲ行ヒ(撤收ニ方リテハ必ず自動洗滌ヲ要スルモ單ニ濾水停止ノミニテハ必ずシモ毎回自動洗滌ヲ必要トセス)濾過器内殘存汚物ヲ洗ヒ流シ1、2番ハ濾過器蓋ヲ開キテ殘水ヲ完全ニ排除ス、操縦手ハ機關冷却水弁ヲ閉デ冷却水ノ「ポンプ」内逆流ヲ防止スルト共ニ聯動鐵板ヲ壓下シ變速槓桿ヲ中立ニシテ傳導ヲ遮斷シ「ポンプ」槓桿ヲ前ニ倒シタル後機室空冷却水栓ヲ閉ヅ右側昇降台下ノ各排水弁ヲ開キ排水ヲ完全ニス、1、2番ハ他側ノ吸水及汚水ロキヤツツ」並ニ兩側放水口ヲ開キ殘留水ノ排出ヲ行フ。

第22 濾水實施ニ方リ注意スベキ事項概ネ左ノ如シ。

1. 最初及自動洗滌直後ノ濾水ハ淨水槽ニ注入スルトナク放棄スルヲ可トス、放棄濾水時間ハ概ネ1分間トス。

578-11

2. 濾水間絶エズ冷却水弁ヲ調整シ冷却水温ヲ概ネ60度ニ保持セシム。

極寒時ニ於テハ冷却水弁ハ閉鎖シ循環ヲ行フコトナシ。

3. 濾水操作中ハ「ポンプ」ニ注脂スベカラズ。

4. 濾水間壓力計及真空計ノ異状振動ヲ來シ時トシテ「ポンプ」ノ振動ヲ生ズルコトアリ、~~之~~空氣ヲ吸引セルカ蘇能ノ周圍ニ多量ノ塵芥附着シテ吸引不良トナリシニ依ル、故ニ點檢ニ方リテハ吸水側ノ各部締附等ニ注意スルト共ニ塵芥ノ除去ニ勉ムルヲ要ス。

5. 真空ポンプハ主ポンプノ揚水中停止シアルヲ要ス、「ポンプ」壓力0.7疋以下ノ場合ニ於テハ時キトシテ真空ポンプガ動作スルコトアリ。

6. 濾水壓力ハ約3.5疋トス、壓力3.5疋以上ニシテ濾水量減少スル場合ハ水中浮游物ノ濾過管栓來ニ起因スルヲ以テ自動洗滌ヲ實施スルヲ要ス。

第23 自動洗滌ヲ爲サシムルニハ1分間ノ回轉數ヲ示シタル後左ノ號令ヲ下ス。

自動洗滌何回始メ

1番ハ原水主管弁ヲ閉ヂテ送水ヲ停止シ通氣及汚水主管弁ヲ全開ス、操縦手ハ「ポンプ」ノ壓力カヲ約1疋ニ低下シ聯動該板ヲ壓下シテ自動洗滌第1横桿ヲ餘ロニ起シタル後第2横桿ヲ引キテ回轉計ヲ注視シツツ餘ロニ自動洗滌主軸ヲ始動シ約1分間概ネ200回轉内外ノ回轉數ニテ約30秒主軸ヲ回轉セシメタル後第2横桿ヲ蓄ニ復ス。1番ハ原水主管弁ヲ開キ操縦手ハ濾過器内ニ水壓ヲ加ヘルコトナク壓力約1.5疋ニテ送水洗滌ス。要スレバ操縦手ハ此ノ際再々第2横桿ヲ引キ洗ヒ流シヲ行フ、洗滌主軸回轉時間ハ約15秒トス。

第24 自動洗滌ヲ停止セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス。

自動洗滌止メ

操縦手ハ操作ヲ停止シ1番ハ汚水及通氣主管弁ヲ閉鎖ス、但シ撤收ノ場合ハ閉鎖ヲ行フコトナシ。

第25 自動洗滌實施ニ際シ注意スベキ事項概ネ左ノ如シ。

1. 洗ヒ流シノ「ポンプ」壓力ハ約1.5疋トス。

2. 自動洗滌ノ停止ハ汚水ホースノ排水ガ原水ト略ニ同程度ニ至ルヲ以テ其ノ目途トナス。

3. 自動洗滌ハ濾水ト同時ニ實施シ得ルモ機關ノ保護及洗滌ヲ完全ナラシムル爲メ濾水ヲ停止スルヲ可トス。

第26 藥物ニ依ル消毒ヲ爲サシムルニハ左ノ號令ヲ下ス。

藥物消毒始メ

兵ハ消毒藥ヲ入レタル水槽内ニ吸水及汚水ホースヲ挿入シ約10分間第20項ニ準ジテ濾水操作ヲ行ヒ消毒藥ヲ濾過管ニ循環セシム此ノ際冷却水弁ハ閉鎖シ置クモノトス、循環濾水終レバ通氣及汚水主管弁ヲ開キテ消毒藥液ヲ排出シ該部ノ消毒ヲ實施ス。

第27 消毒ヲ停止セシメルニハ左ノ號令ヲ下ス

消毒止メ

578-12

兵へ消毒動作ヲ中止シタル後病原菌若クハ毒物ヲ含有セザル原水又ハ淨水ヲ以テ濾水操作ヲ約10分間行ヒ藥臭ヲ除去ス、特ニ「クロール」使用ノ場合ハ洗ヒ流シヲ完全ニナシ企圖ノ腐敗ヲ防止スルヲ要ス。

第28 放水準備ヲ爲サシムルニハ左ノ號令ヲ下ス。

放 水 準 備

放水ホース」何本繼グ

1, 2 番ハ所要ノ放水ホース」ヲ準備シ其ノ一端ヲ放水口ニ接続シ管槍ヲ他ノ尖端ニ取附ケ、

3, 4 番ハ放水ホース」ヲ展ヘ且之ヲ接続ス。

準備終レバ操縦手ハ「準備終リ」ト報告ス。

第29 放水セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス。

放 水 始 ヲ

1 番ハ原水主管弁ヲ閉ヂ放水弁ヲ開ク、3, 4 番ハ協力シテ管槍ヲ保持ス、操縦手ハ第20項濾水操作ニ準ジ「ポンプ」ヲ始動シ放水ヲ行フ。

第30 放水ヲ停止セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス。

放 水 止 ヲ

操縦手ハ操作ヲ停止シ 1 番ハ放水弁ヲ閉ヅ。

第31 放水ホース」ヲ撤收セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス。

放水ホース」撤收

兵ハ放水準備ト概ネ反對ノ動作ヲ爲シ「ホース」ヲ撤收ス。

第32 甲ノ撤收ヲ爲サシムルニハ兵ヲ定位ニ著ケ左ノ號令ヲ下ス。

撤 收

兵ハ先ヅ「濾水止メ」ノ動作ヲ行ヒタル後概ネ濾水準備ト反對ノ操作ニ依リ逐次器材ヲ取外シ清洗シ所要ノ手入ヲ爲シテ撤收ヲ行フ。

第33 保溼用天幕ノ開設準備ヲ爲サシムルニハ左ノ號令ヲ下ス。

天幕開設準備

3, 4 番ハ附屬車荷区内ニ在リテ保溼用天幕、第4, 5 屬品箱ヲ卸下シ操縦手1, 2 番ハ下ニ在リテ解捆シ所要ノ内容ヲ配置ス、配列位置ハ通常甲ノ側方約10歩ノ線トス、操縦手ハ準備終レバ「準備終リ」ト報告ス。

第34 天幕ヲ開設セシムルニハ左ノ號令ヲ下ス。

天 幕 開 設

操縦手及1, 2 番ハ主體ノ留革ヲ解キ「ポンプ室保護天幕」ヲ運轉臺後部及主體ヨリ解離シテ上方ニ捲上ゲ機關室上部、運轉臺前部竝ニ車室前部ニ裝備シアル5 本ノ天幕用強出腕ヲ解ク、3, 4 番ハ主體及後部屋根幕ノ留革ヲ解キ車室後部ニ裝備シタル4 本ノ天幕用強出腕ヲ解ク、1 番ハ操縦室ニ上リ操縦手、助手ノ展開セル前部屋根幕ノ支柱頭孔ヲ車室前上部ノ支柱頭ニ合シ主